

2021. 9. 22 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

【立命館土曜講座のご案内】**10月テーマ 『デジタル技術のクリエイティビティ』**

10月 9日(土) 「特殊効果と映像表現」

10月16日(土) 「ICTとミクストリアリティが拓くクリエイションの未来」

10月の立命館土曜講座は、『デジタル技術のクリエイティビティ』をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)で開講します。

近年、デジタル技術の発達により、あらゆるヒト・モノ・コトが変容を遂げました。映画制作では、特殊効果が映像の制作手法や表現に欠かせないものになり、個人の生活でも、スマートフォンを中心に新しい映像体験が圧倒的なスピードで行き渡り、ユーザーは体験を受容するだけでなく自ら撮影や編集を行い、他者と自由に共有できるようになりました。

本講座では、クリエイティブ・メディア研究センター企画のもと、映像学部の教員が、デジタル技術がもたらした映画の変容、また映像体験技術と今後の展開について、それぞれ解説します。どなたでも無料で受講いただけます。本テーマにご関心のある方のご参加をお待ちしています。

記

■ 2021年10月テーマ『デジタル技術のクリエイティビティ』**(1) 第3344回「特殊効果と映像表現」**

日 時：2021年10月9日(土) 13:00~14:30

講 師：立命館大学映像学部 講師 大崎 智史

(2) 第3345回「ICTとミクストリアリティが拓くクリエイションの未来」

日 時：2021年10月16日(土) 13:00~14:30

講 師：立命館大学映像学部 教授 大島 登志一

会 場：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：詳細は別紙をご覧ください。

聴 講 料：無料

定 員：400名 ※要事前申込。定員に達し次第、受付終了します。

申込方法：立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

企 画：クリエイティブ・メディア研究センター

※情報アクセス(手話通訳・文字通訳など)については、各講座実施日の2週間前までにご連絡ください。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・瀬古

TEL.075-465-8224

■ 講座テーマ内容

(1) 第 3344 回「特殊効果と映像表現」

特殊効果は、その誕生から映画制作と密接な関係にあり、デジタル技術の発達により、映像のより柔軟な加工を可能にし、制作手法や映像表現に大きな影響を与えました。従来では実現できなかった映像を生み出した点において、現在の映画制作に欠かせないものといえます。

本講座では、そのような特殊効果または視覚効果の観点から、『ゼロ・グラビティ』やMCU(マーベル・シネマティック・ユニバース)作品など、近年の映画作品を取り上げ、その映像の特徴や制作手法を従来の映画と比較しながら、デジタル技術がもたらした映画の変容について解説します。

講師：立命館大学映像学部 講師 大崎 智史

(2) 第 3345 回「ICT とミクストリアリティが拓くクリエイションの未来」

映像学部が設立された 2007 年は、スマートフォンが普及した年でした。それ以降、スマートフォンを一つのプラットフォームとして、新しい映像体験が圧倒的なスピードで個人の手に行き渡り、CG やゲーム制作、プログラミング、デバイスの自作など、これまで一般には敷居の高かった、テクノロジーを活用する創作活動も、パーソナル化が加速しています。昨今、VR(仮想現実感:バーチャル・リアリティ)や AR(拡張現実感:オーグメンテッド・リアリティ)が一般にも広く認知され、利用も進み、また MR(複合現実感:ミクスト・リアリティ)という技術も注目されています。

本講座では、VR・AR・MR をキーワードとして、その素性を明らかにしながら、AI や 5G などに象徴される ICT と MR などの体験技術が連携することで期待される「クリエイション×エデュケーション」の展開について解説します。

講師：立命館大学映像学部 教授 大島 登志一

■ 立命館土曜講座について

立命館土曜講座は 1946 年から続く市民向け公開講座。故・末川博名誉総長が、「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにあること、学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」と提唱し、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指して設けました。

WEB サイト：<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>